



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第8号 (H22.5.28)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



非常事態宣言！本校の対策！

～口蹄疫非常事態宣言における本校の危機管理～

5月18日午前、県知事より、県内に口蹄疫非常事態宣言が出されました。口蹄疫で家畜の移動制限地域だけでなく、県内全ての県民が不用不急の行動・移動はしない、各種イベント、催し物も自粛、延期するように要請がありました。また、消毒だけでなく、手足の洗浄も含めた身体の清潔感を保つように呼びかけています。

これは、「全県民が口蹄疫の終息に向けて取り組み『宮崎県の基幹産業を守る』という姿勢をもたなければならぬ」という宣言です。(本校事務長より)

本校もこれを受けて、学校の危機管理対策として、正門・裏門や校舎の出入口に消毒用のカーペット類を設置し、正門・裏門にはカーペットの周りに消石灰も設置するようにしました。自動車・自転車・歩行者、学校に出入りする時は必ずこの上を通過してください。(下記の写真)



<ご協力ください！>

(都城市口蹄疫対策本部から)

- 畜産農家の農場や家畜などに近づかないでください。
- 各施設入り口での「足踏み消毒」などにご協力ください。
- 発生地域を通った車両は、帰路途中の消毒ポイントの消毒にご協力ください。
- 畜産農家など不特定多数を集める会合などは可能であれば終息宣言後に延期してください。

都城市教育委員会からのお願い！

1 教職員に対する防疫体制

- 自家用車で通勤している教職員にあたっては、校門等で消石灰による自家用車の消毒等を実施など

2 児童生徒に対する防疫体制

- 消石灰の散布場所の通過や手や足の洗浄やうがいの等の励行など

3 学校行事の自粛(延期)等

- 不特定多数の保護者や住民が集まる学校行事やPTA行事等の自粛(延期)

4 対外試合等の自粛(延期)

- 部活動の対外試合等については当分の間自粛、ただし中体連地区大会については検討

5 家庭訪問等の自粛(延期)

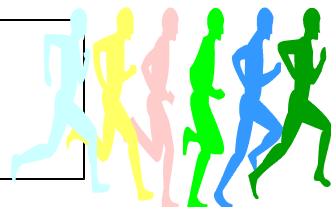
- 家庭訪問の自粛、必要場合は電話連絡

6 風評被害の防止

- 人権等に十分配慮する。
- 様々な風評に振り回されることなく、常に客観的な情報を収集し冷静に対応する。

泉ヶ丘生の活躍を期待して

生徒会主催 高校総体壮行会 開催される



5月25日(火)生徒会主催の高校総体壮行会が開催されました。各部主将による決意表明の後、陸上部主将の今村航大主将による団旗授与、男子バスケットボール部主将の浦田章伍主将による力強い選手宣誓が行われました。また、応援団による力強いエールが送られました。全校生徒の期待に応えるような活躍が期待されます。



(左上：各部主将：決意表明、左下：応援団エール 右上：今村主将、右下：浦田主将)

～部活動の意義～

私は、部活動の存在意義を次のように考えています。技術や体力を向上させることは言うまでもないですが、思いやりの心、協調性、自主性、忍耐力、礼儀など普段の生活の中で大切と思われる心の成長に欠かせない活動であると。私が、グラウンドに顔を見せると、野球部の部員が大きな声で「こんにちは」と挨拶してくれます。体育館に入っていくと、そこでも大きな声で「こんにちは」と挨拶してくれます。練習の邪魔をしているようで申し訳なく感じながらも、大変嬉しいです。しかし、逆もあります。全体ではできているのですが、個人になるとできない生徒もいます。時間のない中、一生懸命努力している姿を見るとさすがしくなります。きっとその努力は、その人の心を磨き、強く成長させるとともに、仲間を大切にしている心、逆境に負けない精神力を生徒に育ててくれます。機械化する生活の中で仲間とのコミュニケーションを大切にする部活動は、心の成長に大きく貢献しています。本校の先生方は、部活動の指導では、当然優勝することを目指して厳しく指導しますが、上に記すようなことも指導されています。

ある本に、成績や学力も当然大切であるが、社会に出てから恥(はじ)をかかないように「躰(しつけ)」や「心を育てる」ことも大切であると書いてありました。その点を考えたとき、部活動の存在は大きいと思います。保護者の皆さま、部活動始まったばかりですが、これからもご協力よろしくお願いします。

※訂正：UMK「のびよ！みやぎっ子」の放映は、6月12日(土)から6月5日(土)に変更になりました。ご確認の上、是非ご覧ください。

